第２学年　学級活動指導案

１　単元名　　　忘れ物をしないようにする手順を考えよう

２　単元の目標

　話し合いや実践の結果から，忘れ物をしないようにするための手順を，論理的に考えることができる。

３　本時の学習

（１）目標

　忘れ物をしないようにするための手順を論理的に考えることができる。

（２）プログラミングを取り入れる効果

　本題材では，忘れ物をなくすためにはどうすればいいかを，アンプラグドプログラミングを用いて班で話し合い活動を行い，フローチャートを作成することをねらいとしている。普段漫然と行っていることも，筋道を立てて考えるとわかりやすくなることを感じさせたい。

　生活科で「晴れの日と雨の日の休み時間の様子」について，プログラムを組んだときは，自分の行動を振り返り，１つ１つ書き出したり，行動を組み替えたりして，休み時間の様子を可視化しようとしていた。

　また，ある児童が「外に行くためには，靴に履き替えないといけない」と発言したことから，行動がさらに細かくなり，休み時間にもたくさんの動きがあることに気づいた児童も多かった。学級活動では「朝の準備の手順を考えよう」というテーマで班活動を行った。ホワイトボードに貼ったマグネットを並べ替えたり，新しく手順を書き加えたりして，班の児童と意見を出し合いながら，手順を考えようとする姿勢が見られた。今は，考えた手順を実践している。

　本時では，ランドセルを開けてから閉じるまでの一連の活動を，手順を並べ替えたり，新しく付け加えたりしながら，班で作成する。そして各班のプログラムを見て，自分の班のプログラムとの相違点を話し合う。

　これらを通して，児童の「自分の目標達成に向けて手順を作成する力」を高めたいと考え，本題材を設定した。

（３）展開

学習活動	・指導上の留意点（◇評価）
１　本時のめあてや学習課題を確認する。	・朝の準備の手順を考えたときの写真を電子黒板に写し，いつでも見ることができるようにする。
わすれものをしないようにするための手順を考えよう。	
２　忘れ物をしないための手順を考える。	・ホワイトボードとマグネットを用いて考えさせ，何度やり直してもよいことを伝える。 （◇班で協力して忘れ物をしない手順を考えている。）
３　作成した手順を発表する。	・手順を作成したホワイトボードを黒板に掲示する。
４　他の班の手順を見て，意見を出し合う。	・自分の班との相違点に着目して発表するよう促す。 （◇自分たちが作成した手順と見比べて，相違点に着目し，気付いたことを発表している。）
４　本時のまとめ	・自分たちで決めた手順を実践使用を言う気持ちを高める。 ・次回，実践した結果や思ったことを発表する活動をすることを伝える。

４　本時の評価

「十分満足できる」と判断される状況	班で協力して忘れ物をしない手順を考えることができた。 班の意見を比べ，気付いたことを発表することができた。
「おおむね満足できる」状況を実現するための手立て	ホワイトボードと手順を書いたマグネットを用いることで，必要だと思う手順を視覚可し，容易に手順の入れかえを行いながら作成することができるようにする。